

たまがわの風

No.33

平成28年3月15日 校長室発

平成28年度もまもなく終わろうとしています。1年間、本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございました。おかげさまで10周年関連行事も無事終了し、安心しています。平成28年度もこれまで同様暖かいご支援をよろしくお願いします。

<卒業証書授与式>

「第八回卒業証書授与式」を3月8日に挙行了しました。共生推進教室生を含め70人の卒業生が本校を巣立っていきました。今年度も約85%の卒業生が就労の内定をいただいています。以下、私の式辞の要約です。

卒業生の皆さんに一つだけお願いがあります。それは「人権」を大切にしたいということです。ノーベル平和賞を受賞した、バキスタンの少女「マララ」のことを知っていますか？

過激派の集団が「女子に教育を受けさせるな！」と多くの学校を爆破したり、批判する人々を殺したりしたのです。そんな中、マララは「女性が男性と等しく教育を受けられないのはおかしい。全ての人に教育を」と訴え続けました。過激派から「殺害する」と何度も脅されましたが、それでも訴え続け、とうとう学校からの下校途中に過激派に襲われ、銃で頭を撃たれ生死の境をさまよいましたが、奇跡的に回復しました。そして回復した後も教育の平等を訴え続け、国連本部で演説、そして史上最年少の17歳でノーベル平和賞を受賞しました。この国連本部での演説で彼女はこういいました。「過激派やテロリストの集団に復讐してやろうという気持ちは全くありません。全ての子どもには教育を受ける権利があると訴えるためです。過激派やテロリストの子どもたちにも教育を受けてほしいのです。世界中の皆さんにお願いです。身分・宗教・肌の色・性差による差別や偏見をなくしてください。女性に自由と平等を与えてください。」と。17歳の少女が全世界に向かって訴えているのです。この勇気ある義務があると思います。

人権は、何物にも変えがたく、最大限に尊重されなければなりません。皆さんも他者のそして自分の人権を大切に、人と話す時には心ない言葉で相手を傷つけないよう、そして一生を通じて「相手を思いやる心」を忘れない、心温かい人間になってくれることを期待します。

<福祉分野> 新聞で紹介されました。

次年度本格実施の地域コミュニティ「**たまがわランド**」の取り組みの一環として、福祉分野が授業で練習している「**ハンドケアサービス**」を福祉施設に出向いて行いました。読売新聞の記事です。

4～6年生で希望者180人に塾講師が土曜日に学習指導する「あすの再編に伴う新小中学校の開設や

総額は40億4300万円。町立学校報を共有するなど、空き家活用を推進（100万円）。

（34）
（35）
（36）
（37）
（38）
（39）
（40）
（41）
（42）
（43）
（44）
（45）
（46）
（47）
（48）
（49）
（50）
（51）
（52）
（53）
（54）
（55）
（56）
（57）
（58）
（59）
（60）
（61）
（62）
（63）
（64）
（65）
（66）
（67）
（68）
（69）
（70）
（71）
（72）
（73）
（74）
（75）
（76）
（77）
（78）
（79）
（80）
（81）
（82）
（83）
（84）
（85）
（86）
（87）
（88）
（89）
（90）
（91）
（92）
（93）
（94）
（95）
（96）
（97）
（98）
（99）
（100）

高齢者とハンドケア交流

東大阪で高等支援学校生

デイサービスの利用者（右）にハンドケアを行う生徒（東大阪市内）

東大阪市の府立たまがわ高等支援学校で福祉関係の資格取得を目指す生徒10人が、市内のデイサービス事業所を訪れ、「ハンドケア」と呼ばれるマッサージを通じて、高齢者とのコミュニケーションを学んだ。

知的障害のある生徒が通う同校は、就職に役立つ資格の取得を積極的に後押ししている。介護を学ぶ3年生が、温かいおしぼりで利用者の手を拭いて血行を良くした後、指や手のひらをもみほぐした。着下妙永さん（86）は「若い人から

「エネルギーをもらった」と喜び、3年の森下泰心さん（18）は「最初は力加減が難しかったが、コツが分かってきた。笑顔を見ると励みになる」と話した。

ストレスの病
テーマに講座
高槻で29日
読売健康講座「気を付けよう！ ストレスで起きるからだの病気」（読売新聞大阪本社後援）が27日午後2時から、高槻市の高槻現